

# ちの市議会だより

第28号

2019年2月20日

発行／茅野市議会  
編集／議会広報部会  
〒391-8501  
長野県茅野市塚原二丁目6番1号  
☎ 0266-72-2101  
FAX 0266-73-7936

WEBで検索 茅野市議会 検索

目次

委員会の審査、本会議討論	33
一般質問通告一覧	33
議決結果・賛否一覧・陳情議決結果	36
総務環境委員会行政視察報告	38
議会改革に関する検討結果	40
会派・議連活動報告	42
姉妹都市交流事業、編集室より	43

## 平成30年12月 定例会のあらまし

茅野市議会12月定例会は、11月28日(水)から12月19日(水)までの会期で開催されました。

補正予算や条例など9議案が審議され、いずれも原案のとおり可決されました。

また、陳情2件が審議され、1件が採択、1件が不採択となり、意見書案1件が可決されました。

各議案の一覧及び議決結果は、38ページをご覧ください。

## 茅野市議会

### 『保育園改修事業の現地視察を行いました』

小泉保育園と北山保育園の改修工事が終わり、議会で視察を行いました。当該保育園においては、老朽化が進んでおり、工事とすれば国からの交付金で工事費の大半を賄うことができ、市の一般財源の負担を軽減できることから、建て替えではなく改修工事としました。社会情勢の変化から、今後も市の財政状況はますます厳しくなることから、改修工事としたのは行政の懸命な判断だと思います。改修後の両園を見て頂ければお分かりになりますが、外見はもちろん、耐震も強化され、園児が快適に過ごせるような作りになっており、新築と変わらない印象を受けました。園児達や地域の方々にとっても必ず満足頂けるものになったと思います。

両園が末永く地域の子供たちの集いの場となり、地域コミュニティの拠点となることを議員一同ご祈念申し上げます。



現地視察の様子

委員会における主な議案の審査

予算決算委員会

委員長 宮坂 武男

議案第76号  
平成30年度茅野市一般会計補正予算(第6号)について



この議案は、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1億4442万2千円を追加し、歳入歳出それぞれ254億519万7千円とするもの。

主な補正内容

- ・保育所施設整備事業で6886万1千円の歳出増。
- ・温泉施設管理運営費で2400万円の歳出増。
- ・病児・病後児保育支援事業で1725万8千円の歳出増。
- ・長野県後期高齢者医療広域連合負担金で1315万円の歳出増。
- ・県議会議員選挙費で1097万8千円の歳出増。
- ・人事異動及び人事院勧告に伴う人件費の補正。

議案第80号  
平成30年度茅野市一般会計補正予算(第7号)について



この議案は、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ9億196万9千円を追加し、歳入歳出それぞれ263億716万6千円とするもの。

小中学校への空調設備設置のため、設計・管理・設置工事の経費として小学校施設整備費で5億9086万4千円の歳出増、中学校施設整備費で3億1110万5千円の歳出増。

総務環境委員会

委員長 北沢 千登勢

議案第73号  
諏訪南行政事務組合規約の一部変更について



この議案は、諏訪南リサイクルセンターの設置、管理及び運営に関する事務における負担する分担金の割合を改めるもの。

「茅野市単独で行う紙類を扱う施設について、現在各所に紙類を取り扱う無人の集積所がある中で、建設する施設の処理能力はどのくらいになるのか。」

「1日の処理能力としては、11・4トン程度の機械になる計画をしている。これは現在の能力と変わらない。無人の集積所が撤退する、また、富士見町、原村の分が入ってくる、そういった可能性があっても対応できる規模である。」

「リサイクルセンター全体の建設費、また茅野市単独の部分の建設費が予算規模でどのくらいになるのか。」

「まだ発注仕様書が出来ていないので、茅野市単独の部分も含めて具体的な金額は出ていない。概略構想としては17億円を見込んでいたが、人件費、建設資材等の高騰でかなり上回る金額になると予想される。」

議案第79号  
茅野市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について



この議案は、人事院勧告に伴う国家公務員の給与改定に準じた給与改定を行うため、関係規定の整備をするためのもの。

「今回の改正による総額がどの位になるか。」

「職員の支給額は若手職員で年間2万7千円程度の増。部長職で年間3万1千円程度の増。全体で1600万円程度の増となる。」

「夏と冬の手当が均等になっているのはなぜか。」

「人事院勧告に従っている。」

「今回の補正予算6号に人事院勧告分を含んでいるか。」

「人事院勧告分が含まれている。」

福祉教育委員会

委員長 丸茂 岳人

議案第74号  
茅野市学童クラブ条例の一部を改正する条例について



この議案は、学童クラブについて、利用児童数の増加に伴い、新たに4施設を増設し、学童クラブの適正な環境を整備していくためのももの。

「課外活動の環境整備等は子どもが増えても大丈夫か。指導員は、プログラムを基に子どもたちと過ごしているのか。」

「体育館や校庭が使えるようになっていて、外遊び、室内

での遊びもできるようになってくる。プログラムは、順番で体育館等を使うようになっていて、ほかには宿題をやったり、外で遊んだり、読書をしたり、というような活動で、個々の学童で工夫しながら活動をしている。」



学童クラブ 現地視察

**問** 「10人以上の指導員が入るようになって、問題意識を共有するなどの指導や、調整はリーダーシップを取って話を進めるのか。」

**答** 「学童の指導員は教室ごとに2名から5名程度張り付いている。その中でリーダーを1人決めていく。リーダーがリーダーシップを取って各学童との調整を図っている。」

**問** 「学童クラブの設置要綱では小学校に限らず設置できると思うが、それ以外に設置はしないのか。来年はどのぐらい増える見込みがあるのか。」

**答** 「現在は学校の中に設置し、空き教室を使用している。学校の中にあると、学校や指導員同士の連携がうまくいく。今のところは学校の中、あるいは離れたとしても学校の近くで選定したいと考えている。人数の増加見込みは、現在入所の受付をしていて、平成30年度は586名だったが、来年度は590名程度になる見込みで、まだ増える可能性がある。」



学童クラブ 現地視察

議案第75号  
茅野市都市公園条例の一部を  
改正する条例について

可決

この議案は、庭球場の大規模改修に伴い、使用料を改定するためのものである。



運動公園庭球場 現地視察

**問** 「クレイコートは朝5時から使えるが、オムニコートは使える時間が遅いということだが、同じように使えないのか。」

**答** 「使用時間について、クレイコートは朝5時から、オムニコートは朝9時からということになっている。クレイコートだけでは朝の早い時間帯の利用については足りている状況があるので、オムニコートは朝9時からにしている。今後、使用が多くなっていくよう

であれば、時間の変更も考えていきたい。」

**問** 「小中学生、高校生、公立理科大学の減免については検討されているか。」

**答** 「使用料の減免については基準があつて、その他、市長が認めた場合とあるのでそういうことも検討できると思う。現状として小・中・高、大学も料金の体系は分かれておらず、今回の料金改定についてはテニスコートの工事に伴う料金改定になるので、来年度、使用料等を見直す時に、料金体系を検討していかなければいけないと考えている。」

**問** 「市民が好きなスポーツに慣れ親しみ、作った費用が掛かるから負担してもらおうのではなく、良い施設を作ったので、市民に広く使ってもらおう意味で、通年券は必要だと思つ。」

**答** 「通年券や回数券について議論していかなくてはならないが、懸念するのが、管理する制度である。通年券を持つている人と持っていない人との管理が難しいため、クレームに繋がる可能性があるが、どのへんまで厳しくするか検討の必要がある。」

陳情5  
安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める陳情

採択の意見

「勤務医は連続勤務が恒常的になっており、医師の方々には元気に働いてもらいたいので採択。」

「職場の改善は介護・医療だけでなく、いろんな面であるが、医療関係は特に厳しい中にあるので採択。」

「介護現場で一人勤務という状況はまだ続いており、医療現場でも看護師の負担も思った以上に改善されていないので採択。」



陳情6  
「後期高齢者の医療費窓口負担の見直し」にあたり原則1割負担の継続を求める意見書採択について

不採択の意見

「市民の生活を守るという面では心苦しいが、将来の保険制度のことを考えると後期高齢者にも一部を支えていただくことで、今の保険制度を守っていくためにはやむなしと考え、不採択。」



「1割負担では国の財政を圧迫し、

結果として、若い人たちが負担することになる。平等ということを考える若い人たちに負担をかけることなく、2割負担が妥当だと思うため、不採択。」

「今の若い人たちにより多くの負担をさせるのかと思う。高齢者に負担させるのもつらいが、できるなら若い人たちが優先させたいと思う、不採択。」

採択の意見

「高齢者が貧困になりやすいのは、医療費がかさみ、収入が減るのに支出が増えてしまうことが原因で、高齢者の貧困化や生活保護が増えているのではないかと、貧困は国や社会システムが作り出すものという観点から国を挙げて議論していただきたいという思いで採択。」

「2割負担は、負担が増えることで病院に通えない人や逆に病院へかかったことで経済的に破たんする方がでてくるのではないかと。そのため、現状の1割負担とし、国の負担割合を増やすことで解決すべきであるという思いから採択。」

本会議における討論

陳情6  
「後期高齢者の医療費窓口負担の見直し」にあたり原則1割負担の継続を求める意見書採択について



●反対意見

「高齢者世帯では、貯金を切り崩し生活している。後期高齢者の窓口負担を2割にすることは、生活を更に切り詰めて行かざるを得なくなり、大変心苦しい。しかし、団塊の世代の方々が後期高齢者となる今後を見据え、後期高齢者医療保険制度を維持していくためには、後期高齢者にも一部を負担していただくのは、やむなしと考え、不採択。」

●賛成意見

「利用者からこれ以上の負担を強いることはお年寄りにとつては死活問題であり、家族にも負担がかかる。2割負担にすると、医療抑制に繋がることは間違いない。医療費が増える中で、後期高齢者の1割負担という仕組みでは確かに保険を維持することは困難という

ことは理解できる。しかし、国の負担割合を上げることで解決の筋道はつく。財源はアベノミクスで儲かった大企業の今年の1年間に増えた内部留保や高所得者が負担する方向に舵をきっていくことで、解決できる。よって、本陳情に賛成。」



**茅野市の課題を問う!**

茅野市ホームページから一般質問の録画映像がご覧いただけます。また、同ホームページの『会議録検索システム』より会議録の閲覧ができますので、ご利用ください。

**12月定例会一般質問通告一覧**

	件名	要旨
篠原啓郎	1 茅野版DMO、観光を基軸とした新たな観光まちづくりについて	(1) ちの観光まちづくり推進機構と市の関係について (2) 同機構の機能及び組織体制について (3) 市の全域を対象とした民泊、民宿、古民家等ステイ事業について (4) 既存の観光地への取組について (5) 観光道路ビーナスラインの環境整備について (6) 市側の観光組織の名称について
樋口敏之	2 防災危機管理の考え方について	(1) 災害対策本部の現状と今後の災害に対するの検証について (2) 危機管理専門職の採用又は養成について (3) 防災士養成の考えについて
矢島正恒	3 「こどもの居場所」の必要性和求められる支援体制等について	(1) 茅野市こども・家庭総合支援拠点「育ちあいの」の取組状況と今後の目指す支援の在り方について (2) こども食堂や学習支援などをとおした「こどもの居場所」づくりの推進について (3) グローバル化時代に対応する英語教育の更なる推進について
	4 防災センター及び基本避難所(情報環境等)の整備について	(1) 求められる災害対策本部のあり方と防災センターの整備について (2) 基本避難所における情報環境の整備について (3) 防災リーダーの育成を図る広域的研修会の実施について
丸茂岳人	5 地方創生関係交付金等国の支援を受けている事業の現状と見通しについて	(1) 交付金事業の進捗と課題について (2) 交付金事業による茅野版DMOの見通しについて (3) コワーキングスペース事業の見通しについて (4) 地域おこし協力隊及び集落支援員について (5) 交付金終了後の事業運営について (6) 新たな事業について
	6 市職員の健康管理について	(1) 健康診断と人間ドック受診の状況について (2) 人間ドック受診を増やす考えについて
小尾一郎	7 提供される公益通報への市の対応について	(1) 公益通報の定義について (2) 公益通報の意義について (3) 公益通報の取扱いについて
	8 出資団体の経営に対する市の責任について	(1) 現在の出資団体と事業内容について (2) 出資団体への出資内容・関与内容について (3) 議会・住民への経営状況の公表について (4) 出資団体の経営に対する市長・行政の責任について
伊藤玲子	9 認知症対応策について	(1) 茅野市の認知症患者の実態と推移について (2) 認知症患者に対する「包括ケアシステム」について (3) 高齢者保健福祉計画等での今後の取組について (4) 病院や介護施設等での認知症患者への対応について (5) 小中学校での認知症教育の推進について
	10 子どものスマホ依存について	(1) 小中学校児童生徒のスマホ・携帯所持の実態について (2) 「ケータイ・インターネットを正しく、安全に使うために」の冊子の活用状況について (3) 課題と今後の取組について
小松一平	11 柳平市政3期12年の総括について	
小池賢保	12 茅野市農業担い手育成支援事業補助金の利用状況について	(1) 補助金利用状況について (2) 補助金利用の拡大について (3) 課題について
	13 森林を支える仕組づくりについて	(1) 新たな森林管理システムによる森林整備・保全について (2) 林業・林産業への取組について (3) 森林づくりを支える教育活動について
	14 茅野市コワーキングスペースについて	(1) 各スペースの利用状況について (2) 利用に関する反応について (3) 茅野市地域創生総合戦略における業績評価指数(KPI)及び持続可能な開発目標(SDGs)の設定について

	件名	要旨
伊藤正陽	15 水道水の安心安全な供給維持について	(1) おいしくて安心安全な水道水を供給するための方策について (2) 水道施設の老朽化対策について (3) 安心安全な水道事業維持のための専門職育成について (4) 国がすすめる水道事業の広域化・公設民営化の考えについて
	16 教職員の多忙化解消対策について	(1) 市教委の多忙化解消の取組はどうか、又学校がどう変わったか (2) 国が示した教員の働き方改革について (3) 多様化する子どもへの指導について (4) 新たに始まった小学校英語教育への補助指導員増について
長田近夫	17 小中学校における児童生徒の教育環境について	(1) 児童生徒が持帰る教材等の現状について (2) 児童生徒が背負う通学用カバンが与える影響について (3) 各種支援員の現状について (4) 文科省がすすめるスクール・サポート・スタッフへの取組について
	18 空き家対策への取組について	(1) 空き家バンクの現状について (2) 空き家バンクの今後の活用について (3) 空き家対策に対する今後の課題について
両角秀喜	19 これからの地域づくりについて	(1) 生きる力の育み方について (2) 持続可能な観光について (3) 素朴な田舎暮らしを共感する、地域戦略について
伊藤勝	20 行政アドバイザーのあり方について	(1) 現状と活用状況について (2) アドバイスから職員がどのように展開しているか (3) 行政アドバイザーの運用について (4) 今後運用形態の見直しはあるか
	21 農業振興の課題について	(1) 新規就農者の状況と課題について (2) 人・農地プランの進捗状況について (3) 茅野市農政審議会の役割と現状について
北沢千登勢	22 「茅野市災害に強い支え合いのまちづくり条例」の検証と入区の促進について	(1) 条例の検証 (2) 入区を促進する手立てを講じることについて (3) 未入区・退区の顕在化と地域コミュニティの維持について
	23 再任用職員の配属について	(1) 市の業務量や新規採用、適正な職員配置を勘案する中で、再任用を希望する職員の働きたい意志は尊重されるのか (2) 地区コミュニティセンター所長等の役職に、再任用された部長経験者を配属する考え方について
松山孝志	24 第5次茅野市総合計画の進捗状況と見通しについて	(1) 第5次茅野市総合計画内の財政運営の見通しについて (2) 茅野ブランドの創出について (3) 多様で豊かな自然環境、資源の保全・活用・継承について (4) 高齢化社会に対応するためのサービス付高齢者向け住宅の設置について (5) 小規模農家に対する支援事業について
宮坂武男	25 茅野駅西口の活性化について	(1) 西口広場リニューアルに伴う西口、東口の名称について (2) 西口広場の防犯について (3) ベルビアの空きスペースの活用と課題について (4) 駅ビルの課題について (5) 駅ビルとベルビアを活用した西口の活性化について
	26 星降る中部高地の縄文世界を活用した観光振興について	(1) 茅野市での観光振興の取組について (2) 観光振興のビジョン・バリュー・ミッションについて (3) 新商品の開発やマーケティングについて (4) 構成団体としての茅野市のリードについて
山岸正衛	27 茅野市の花について	(1) 茅野市の花をりんどうとした経緯について (2) りんどう再興プロジェクトについて (3) 今後の取組について
	28 子どもの頃から木に親しむ教育について	(1) 木育の現状について (2) 木を使った授業等について (3) 環境絵本の活用について
望月克治	29 危機管理について	(1) 茅野駅での騒動の際の対応は万全だったか (2) 小江川の溢水と上川の流下能力の関係は検討されたか (3) 災害時の避難所において、子どもの居場所は確保されているか
	30 選挙の投票率について	(1) 投票率向上へどのような取組をしていますか (2) 期日前投票と投票率の関連性をどうみていますか (3) 学校では主権者教育をどのように行っていますか

12月定例会の議決結果と各議員の賛否一覧

付託委員会 ○…賛成 ●…反対 総…総務環境 経…経済建設 福…福祉教育 予…予算決算  
※議長は採決には加わりません。

番 号	件 名	付託委員会	議決結果	松山	丸茂	伊藤	小尾	長田	矢島	両角	小松	伊藤	小池	樋口	篠原	山岸	望月	宮坂	北沢	伊藤	
				孝志	岳人	正陽	一郎	近夫	正恒	秀喜	一平	勝	賢保	敏之	啓郎	正衛	克治	武男	千登勢	玲子	
市長 提出 議案	72	平成30年度茅野市一般会計補正予算(第5号)の専決処分の承認を求めることについて	予承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	73	諏訪南行政事務組合規約の一部変更について	総可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	74	茅野市学童クラブ条例の一部を改正する条例について	福可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	75	茅野市都市公園条例の一部を改正する条例について	福可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	76	平成30年度茅野市一般会計補正予算(第6号)について	予可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	77	平成30年度茅野市水道事業会計補正予算(第1号)について	予可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	78	平成30年度茅野市下水道事業会計補正予算(第1号)について	予可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	79	茅野市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	総可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	80	平成30年度茅野市一般会計補正予算(第7号)について	予可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告	11	専決処分の報告について																			
陳情	5	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交代制労働の改善を求める陳情	福採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6	「後期高齢者の医療費窓口負担の見直し」にあたり原則1割負担の継続を求める意見書採択について	福不採択	退席	●	○	●	●	●	●	●	○	○	●	●	○	●	●	○		
議員提出議案	4	意見書案の提出について(安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交代制労働の改善を求める)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議決日は、12月19日の議会最終日(但し、議案第72号は11月28日の開会日に即決、議案第79号は12月6日に議決)

平成30年12月定例会 陳情 議決結果

番 号	表 題	趣 旨	提 出 者	採決結果	
				委員会	本会議
陳情5	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める陳情	医療や介護現場での人手不足はまだまだに深刻な状態にある。国も手だてを講じてはいるが、具体的な労働環境の改善には至っていない。医師・看護師・医療技術職・介護職などの夜勤交替制労働における労働環境の改善や職員の増員、患者・利用者の負担軽減を求める。	長野県医療労働組合連合会	採 択	採 択
陳情6	「後期高齢者の医療費窓口負担の見直し」にあたり原則1割負担の継続を求める意見書採択について	後期高齢者医療の医療費窓口負担を現行の1割から2割にする議論が国で進められている。自己負担2割化は高齢者の生活と健康に大きな影響を及ぼす。後期高齢者医療費の窓口負担の原則1割負担の継続を求める。	諏訪地方社会保障推進協議会	不採択	不採択

# 行政視察報告

# 総務環境委員会

**実施日** 平成30年10月30日(火)から10月31日(水)まで

**参加者** 委員長：北沢千登勢、副委員長：松山 孝志  
委員：小松 一平、伊藤 勝、樋口 敏之、両角 昌英

市内全域が国立公園指定の志摩市では、主にメガソーラー発電設備の設置



志摩市 視察

志摩市における再生可能エネルギー発電設備の設置と自然環境等の保全との調和に関する条例について

### 三重県志摩市

西日本豪雨直後の7月9日、当初の視察先である岡山県奈義町からは「受け入れ可能」との連絡が入り予定通り向かったが、移動中に「災害箇所を発見し受け入れ不可能」との連絡があり、視察を断念した。

◎茅野市での展開は  
地域の魅力を再認識し、市内外に発信するシティプロモーションは、地域

伊勢神宮の参拝者は年間800万人を超えるが、伊勢神宮以外の魅力を知っていただくために、市民や事業者等と共同でシティプロモーション推進計画を策定した伊勢市の手法を学ぶ。

### 伊勢市シティプロモーション推進計画の取組について

### 三重県伊勢市

山林の大部分が個人所有の志摩市と異なり、多くの山林が共有林の茅野市では大規模発電の設置は難しいが、小規模発電によるトラブルが相次いでいる。茅野市が太陽光発電との共存を目指すならば、自然環境の保全と地域住民への配慮という根本的な課題に対し、効力を発揮できる条例にすることが求められる。

### ◎茅野市での展開は

山林の大部分が個人所有の志摩市と異なり、多くの山林が共有林の茅野市では大規模発電の設置は難しいが、小規模発電によるトラブルが相次いでいる。茅野市が太陽光発電との共存を目指すならば、自然環境の保全と地域住民への配慮という根本的な課題に対し、効力を発揮できる条例にすることが求められる。

### 詳細は…

茅野市  
ホームページ



茅野市議会



行政視察報告

に掲載してありますのでご覧ください。

経済建設委員会および福祉教育委員会の行政視察報告は議会だより第27号(前号)に掲載しました。



伊勢市 視察

創生総合戦略のひとつの手法として全国で展開されている。その中で、いかに地域の持つ独自性を発信できるのか。多くの市民、団体、事業者、学生を巻き込み全庁的、横断的な取組を行うことが、成果を得る重要なポイントになると考える。



茅野市議会

## 議会改革に関する検討結果

平成30年1月より2つの組織を立ち上げ、検討を進めてきた結果を報告します。

### 議員定数、常任委員会組織、議員報酬検討会

会長 山岸 正衛

当検討会では、常任委員会組織については議員定数との関係が深いので、先に議員定数、議員報酬について検討し、その後に組織について検討することにしました。

1、定数、報酬について、他市の状況(全国、長野県)の情報収集を行い、同等の人口規模で比較し茅野市の位置を確認しました。  
(結果については、ちの市議会だより第26号(平成30年8月22日発行)で一部ですがお知らせしましたので、ここでは省略いたします。)

2、定数、報酬に取り組んでいる諏訪市、塩尻市を訪問しメリット、デメリットについて意見交換を行いました。

3、調査結果と意見交換を元に検討会で話し合いを行いました。



塩尻市視察の様子

#### 【結果】

(1) 議員定数を増やした時の・・・			
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの市民意見が反映出来る。</li> <li>立候補しやすくなり多様な階層の人が議員になれる。</li> <li>議員が増えることで相対的に議会の力が増す。</li> <li>議員間の協議などが豊かになる。</li> </ul>	デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の財政上の負担が増える。</li> <li>議員一人のチェック範囲が軽くなる。</li> </ul>
(2) 議員定数を減らした時の・・・			
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の財政上の負担が減る。</li> </ul>	デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な市民意見が吸い上げられなくなる。</li> <li>議会の力が相対的に弱まる。</li> <li>質疑、質問が減少し多面的なチェックが弱くなる。</li> <li>各界、各層の議員構成になりにくく、議会停滞の要因となる。</li> </ul>
(3) 議員報酬を増やした時の・・・			
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な世代や女性が集まりやすくなる。(子育て世代)</li> <li>若い世代の議員志望者が増える。</li> <li>モチベーションが上がる。</li> </ul>	デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の財政上の負担が増える。</li> <li>市民の理解が難しい。</li> </ul>
(4) 議員報酬を減らした時の・・・			
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の財政上の負担が減る。</li> <li>予算を現状通りとすれば、議員の数を増やすことが出来る。</li> </ul>	デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>モチベーションが上がらなくなる。</li> <li>議員のなり手不足が深刻になる。</li> <li>多様な人が議員になるチャンスが減る。</li> </ul>

#### 【今後について】

○再び検討する機会があれば、まず市民の意見を聞くことから始めていきたい。

## 議会基本条例検討会

会長 北沢 千登勢

6か月にわたり県内他市町との研修、意見交換を行い、部会全会一致で茅野市議会に「議会基本条例は必要である」との結論を得ました。各部会員の意見を掲載いたします。来年度改選後から、条例策定作業に取りかかる予定です。

### 「議会基本条例は必要」と考える理由

**丸茂岳人議員**：今後の社会情勢により、これまで以上に難しい判断を迫られることが想定される中、議会基本条例を作成することで、議員、議会の責務、責任を明確にし、議員自身が再認識することが肝要であり、また、市民にもこれを理解してもらい、議会に関心をもってもらう事が、議会や議員の質の向上につながると考えるため。

**小尾一郎議員**：自治体経営のあり方が、住民の生活の質に直接的に影響を及ぼし、情報伝達の進化により、住民は、望む時に政治に接触できるようになってきている。その結果、住民は、民主主義のもとでは、議会は住民のためであることを再自覚し、その責務の明示を議会に要請してくることになる。その要請に応えるのが議会基本条例である。

**矢島正恒議員**：茅野市議会及び議員の目指すべき姿を条例により明確にし、市民に示すとともに、「責務」、「議会運営基本指針」、「会派及び所属組織等」、「代表質問」、「代表者会議」等を議員の基本的事項とする。

**小松一平議員**：茅野市議会においては、基本条例は無いが、議会改革を積極的に推進してきており、基本条例のコンテンツを有している状況である。こうした中で、基本条例制定の法的根拠はないが、制定を否定する理由も見当たらない。議員各位の更なる意識改革、議会改革の推進の思いを共有するためのツールとしての基本条例制定に一定の意義を有する。

**小池賢保議員**：住民が直接選挙する二元代表制の下、議員の責務や政治倫理、活動原則を定めることにより、議員の政策能力の育成・醸成に繋げていく。それを市民がチェックできる。また、合議制の機関である議会の役割を明確にし、議会機能強化や議会改革を図るためにも必要。

**篠原啓郎議員**：議会の活動を具体的に成文化したものがなく活動解説も無いのが現状である。そこで議会が市民の為に何をしているか何をするかを具体的に示し約束するためのツールとして議会基本条例が効果的に働くと考える。一方、市民側の議会監視ツールにもなりうり、市民が議会に対して意見を出しやすくなると思う。

**望月克治議員**：議会の仕事である議論や決定の過程を市民に理解してもらい、議会への関心を高める必要があると考えるから。

**北沢千登勢議員**：議会基本条例制定は、議会活動等を広く市民に示すものである。また、議員間で議論を重ねて合意を得ながら条例を作り上げることは、議会や議員の質を高めるきっかけになり、結果的に市民の負託や期待に応える議会につながる。

**両角昌英議長**：議会基本条例を作ることにより行政に対しては二元代表制の自覚を持って最終意思決定、チェック機能を果たす。市民に対しては議会の果たすべき役割を明文化することで議会活動が見えるようになる。議員自身は議会活動の方向性が定まる。

活動報告

会派 躍動ちの

代表 矢島 正恒

所属議員：丸茂 岳人、小松 一平、山岸 正衛

私たちは、茅野市政の発展に寄与することを目的とし、常に改革を意識し、市政に市民の声を反映させるとともに、積極的な調査、研究、議論を重ね、行財政のチェックのほか政策等を提言し、元気な茅野市を目指します。

平成31年度「予算要望」を市長に提出

- ・31年度予算編成への要望書を柳平市長に提出した。市民生活に身近な「具体的な要望提言」9項目と、第5次市総合計画の6分野に係る「重点要望事項」57項目を記し、実現に向けた取り組みを求めた。

阿部知事を表敬訪問

- ・昨年10月、三選した阿部知事を表敬訪問した。茅野市の諸課題や要望などについて知事は熱心に耳を傾けていただき、様々なアドバイスをいただいた。

市政の課題、政策づくりの調査研究活動を活発に展開

- ・議会定例会で提出された議案、予算、陳情などについて、それら理解を深めるとともに、市政に関する諸課題について積極的に勉強会を行い、調査・研究の取組を深めている。

茅野市の管内視察・意見交換会を実施

- ・「諏訪東京理科大学」の学長や唐沢理事長から、公立化した学生の現状や今後の課題・目標などについてお話を伺い意見交換をした。
- ・市内商工業の課題や重点取組について、商工会議所の守屋専務や山岸事務局長から行政に対するご意見・要望などを聞き意見交換を行った。
- ・市内観光業の現状と展望について、池の平ホテル矢島社長から、目指す観光業についてお話をお伺いした。



活動報告

買い物弱者問題等検討議員連盟

代表 北沢千登勢

所属議員：松山孝志、丸茂岳人、伊藤正陽、長田近夫、両角秀喜、伊藤勝、小池賢保、宮坂武男、伊藤玲子

通称・買い物議連(所属議員10人)は12月17日、市に対し今期最後の提言を行なった。昨年までの日中生活便バスに関する提言5項目のうち、実施につなげた4項目は次の通り。

- ①フリー降車制の導入
- ②カラー刷りポケット時刻表の全戸配布
- ③運賃無料キャンペーンの実施
- ④子どもたちのデザインで車両外観刷新

この4項目については、引き続き改善を重ねながら実施するよう要望した。

残る1項目「65歳以上の運賃一律100円」については、「75歳以上」に年齢を引き上げて、今回改めて提言した。懇談の中で市側は「安ければバスに乗るのか」と疑問を呈した。議連としては「やってみなければわからない」とし、無料キャンペーンを進化させ「全路線誰でも一律100円キャンペーン」を2か月間実施してバスの需要、利用率の変化等ニーズのデータを把握するよう提案した。柳平市長は「前向きに検討する」と応え、改めて回答する旨を示した。

買い物議連は来年度改選に伴い、本年度3月末をもって3年9か月の活動を終了します。ご協力いただいた市民、団体、事業者の皆さまには心より御礼申し上げます。ありがとうございました。



茅野市民新聞提供

# 姉妹都市交流事業

## ～伊勢原市議会との交流～

平成30年11月8、9日の両日に亘って姉妹都市である神奈川県伊勢原市議会が本市を訪れ、議員交流を行いました。行程の中には、宮坂ゴム(株)の「ものづくり工場見学モニターツアー」や「地域おこし協力隊」の活動報告、神長官守矢史料館の見学等があり、充実した交流になりました。

今回は特に伊勢原市のゆかりの戦国武将「太田道灌」を2021年にNHKの大河ドラマに取り上げてもらう署名にも茅野市の全議員が取り組んだところも特筆事項であります。

伊勢原市は来年新東名高速道路が開通とのこと。益々身近の存在になり、今後さらに諸団体との交流が活発化することは、大いに歓迎するところであります。



歓迎式



ものづくり工場見学モニターツアー

## 編集室より

今冬は暖かくて助かる。雪かきも先日真似事をしただけで年を越せそうだ。こういう年は春先にドカ雪が降るような気もする。この原稿を読んで頂く頃にはもしかしたら雪かきに追われているかもしれない。

平成天皇が4月30日で退位される。私の誕生日だ。1933

年のクリスマススイブの前日早朝にお生まれになられ、現憲法を守り象徴天皇の在りかたを模索され続けた。印象に残っているのは、即位をされた正殿の儀で述べられた「常に国民の幸福を願いつつ、日本国憲法を遵守し、日本国及び日本国民統合の象徴としての務めを果たすことを誓い、国民の叡智とたゆみない努力によって、我が国が一層の発展を遂げ、国際社会の友好と平和、人類の福祉と繁栄に寄与することを切に希望いたします。」とお言葉。この国の一つの時代が終わろうとしている。今一度、その意味をかみしめたい。



議会広報部会  
望月 克治